

『バレエ・リュス(ロシア・バレエ団)』公演 100 周年を記念する祝典を開催

～2009 年から 2010 年にかけて 200 以上ものイベントを実施～

モナコ公国では、本年 7 月より、現在のモンテカルロ・バレエ団の前身とも言える『バレエ・リュス (ロシア・バレエ団)』公演 100 周年を祝し、様々なイベントが開催されています。2010 年 7 月 18 日までに、モンテカルロ・バレエ団、モンテカルロ・オペラ、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の公演を始め、200 以上のイベントが開催される予定です。

20 世紀の初頭に、モンテカルロを本拠地に活動していたセルジュ・ド・ディアギレフが率いる『バレエ・リュス (ロシア・バレエ団)』のステージは、舞台芸術の世界に変革をもたらしました。芸術の都としての現在のモナコ公国の礎は、『バレエ・リュス (ロシア・バレエ団)』の偉大な功績により築かれたと言っても過言ではありません。その公演 100 周年を記念したイベントのひとつとして、本年 7 月～9 月にかけて、モナコ新国立美術館で「ディアギレフ – サプライズ・ミー」が開催され、当時、ディアギレフと親交の深かったピカソやマティスなどの絵画と共に 20 着以上のコスチュームが展示され、『バレエ・リュス (ロシア・バレエ団)』のソリストたちの写真やディアギレフの創作活動の歴史をたどるビデオ・ドキュメンタリーなどが上映されました。12 月には、年末の祭典としてモンテカルロのオペラ座で行われる晩餐会などの豪華な催しが予定されています。さらに、12 月 9 日から 2010 年 7 月 18 日には、芸術表現の場としてモナコ国民に親しまれている、モナコ・ダンス・フォーラムが 3 回シリーズで開催され、世界各国のプロのダンサーやパフォーマーたちによるステージやエキシビションが行われる予定です。

『バレエ・リュス (ロシア・バレエ団)』公演 100 周年記念に関する、今後のイベントスケジュールは次の通りです。詳細はホームページ(<http://www.ballets-russes-monaco.com/>)をご覧ください。

【バレエ・リュス(ロシア・バレエ団)公演 100 周年記念に関するイベントスケジュール】

- ★ モナコ・ダンスフォーラム(第一弾)とモンテカルロ・バレエ団
 - 期間: 2009年12月9日～2010年1月3日
 - 場所: グリマルディ・フォーラム、サル・ガルニエ、テアトル・デ・ヴァリエテ

- ★ モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団(昼のコンサート)
 - 日時: 2010年1月13日 12:30PM
 - 場所: テアトル・デ・ヴァリエテ

- ★ モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団(昼のコンサート)
 - 日時: 2010年2月24日 12:30PM
 - 場所: テアトル・デ・バリエテ

- ★ モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団
 - 日時: 2010年2月28日 6:00PM
 - 場所: レニエ3世のオーデイトリアム

- * モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団(昼のコンサート)
 - 日時: 2010年3月17日 12:30PM
 - 場所: テアトル・デ・バリエテ

- * フィルハーモニー管弦楽団とモンテカルロ・オペラ
 - 日時: 2010年3月28日、6:00PM～
 - 場所: レニエ3世オーデトリウム

- * モナコ・ダンスフォーラムとモンテカルロ・バレエ団(第2弾)
 - 期間: 2010年3月27日～4月16日
 - 場所: グリマルディ・フォーラム、サル・ガルニエ、テアトル・デ・ヴァリエテ

- * モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団(昼のコンサート)
 - 日時: 2010年4月21日 12:30PM～
 - 場所: テアトル・デ・バリエテ

- * モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団
 - 日時: 2010年5月30日 6:00PM～
 - 場所: レニエ3世オーデトリウム

- * モナコ・ダンス・フォーラムとモンテカルロ・バレエ団(第3弾)
 - 期間: 2010年7月2日～18日
 - 場所: グリマルディ・フォーラム、サル・ガルニエ、テアトル・デ・ヴァリエテ

###

モナコ公国とモンテカルロ・バレエ団

20世紀初頭のバレエ界に名を馳せたセルゲイ・ディアギレフ率いるバレエ団、「バレエ・リュス」が本拠地とし、創作と公演活動を行ったのがモンテカルロです。バレエ・リュスは1929年の解散まで、モンテカルロの地で、華麗で創造性にあふれる多くの作品を発表しました。バレエ・リュスの解散後も、ディアギレフの精神を受け継ぐいくつかのバレエ団がモンテカルロを本拠地として公演活動をしていましたが、第二次世界大戦とともに姿を消します。

現在のモンテカルロ・バレエ団は、1988年、モナコに再びバレエ団を置くことを願ったグレース公妃の遺志を継いだ、カロリーヌ公女(現在のモナコ公国元首・アルベール2世公の姉)により設立されました。1993年には、ジャン＝クリストフ・マイヨーが芸術監督に就任し、その斬新な感覚と芸術性で独自の舞台を創造し、世界的に高く評価されるバレエ団に育て上げました。20世紀初頭のバレエ史に重要な役割を果たしたモンテカルロの伝統は、こうして現在に引き継がれることになったのです。

モナコ公国は、バレエをはじめとする、多くのイベントの開催地として知られています。面積が皇居の約2倍という公国では、主要なホテルやイベント施設、劇場の間を、徒歩で無理なく移動することができるという利点があります。ビジネスやアカデミックな会議の合間に、世界一流のイベントを手軽に楽しむことができるのも、モナコならではの魅力です。

～ 当リリースに関するお問い合わせ先 ～

モナコ政府観光会議局 日本事務所 担当: 水谷・中尾

TEL: 03-3225-1175 / FAX: 03-5367-2656

E-mail: monaco.japan@aviareps.com